



アステモ 日立Astemo(株) 秋田工場



- 所在地 横手市安本字下御所野1-2
- 設立 昭和49年9月
- 従業員 800人(令和3年3月現在)
- 電話 0182-33-0900

日立Astemo株式会社秋

田工場は、自動車のハンドルとタイヤを結ぶパワーステアリングシステムの製品を製造している会社です。長年の経験で培われた精密加工の技術力だけでなく、時代の流れに対応した新しい技術を常に取り入れ、人を育て磨いていく会社の姿勢は、競争の激しい自動車部品の業界内からも高く評価されています。また、地元の高校でものづくりの講習会を行うなど、会社として地域に根差し、連携した活動も行っています。

ジェネラルマネージャー(GM)の筒井さんは、「今年の1月に日立オートモティブシステムズ(株)から社名が変わり、会社の組織も大きくなりました。現在、自動運転機能が搭載された自動車が普及し始めているますが、今後は日立グループの電子制御技術の強みと、私たちの精密加工の技術を合わせて、快適な自動運転に向けたステアリング製品を提供し、シェアを拡大していくのが目標です」と話してくれました。

● GMさんのひとこと



ジェネラルマネージャー(GM)
筒井 広志さん

働くということにはもちろん、難しいことや大変なことがつきものですが、若い人たちは恐れずにいろいろなことにチャレンジし、周りの人たちの協力を得ながら、全て自分の糧にして成長してもらいたいと思います。自分が疑問に思うことを誰かに聞いたり、解決するまで調べることで好奇心旺盛な方こそ、私たちが求める人材(財)です。ぜひ、私たちと一緒に仕事をしませんか。



▲職場の先輩に支えられながら、日々、勉強中です

● センパイのひとこと



入社2年目
高橋 歩夢さん

高校でものづくりを学び、将来の仕事にしたいと志したことや、インターンシップや企業説明会でお世話になったこともあり、この会社に入社しました。仕事では総務部門を担当していますが、高校で学んだ技術などは、今の業務にも生かされています。経験や知識を持つていけばいろいろなことに対応できますので、これから社会に出るまでの学校生活で、幅広く学んでほしいと思います。



▲高橋さんは、総務部門で職員の人事や勤労関係の業務を担当しています



朝日綜合株式会社



- 所在地 横浜市赤坂字館ノ下 80-1
ベッチモント yokote 3階
- 設立 昭和 56 年 1 月
- 従業員 116人(令和 3 年 3 月現在)
- 電話 0182-32-6263

朝日綜合株式会社は、不動産の管理や賃貸・売買仲介を中心として、店舗開発やリフォームなど、住まいや建物に関すること全般を手掛けている会社です。横手で創業して50年、現在は物件の仲介を行う店舗を県内外に7店舗構えるほか、さまざまなまちづくり事業にも携わっています。

仕事をするために多くの資格が必要となる不動産業ですが、外部コンサルタントによる社内研修の実施や、職員が取得した資格の経費を全額負担するなど、会社として人材育成に力を入れており、社員が成長するためにチャレンジできる環境づくりに取り組んでいます。

代表取締役の熊谷さんは、「空き家や相続の問題など、お客さまの悩みは複雑化しています。お客さまへのお役立ちの視点を追求めし、困りごとの解決のお手伝いをするのが、我が社の使命です。目標は、地元横手から、業界東北ナンバーワンの会社になることです」と話してくれました。

●代表取締役さんのひとこと



代表取締役
熊谷 邦夫さん

若い人たちには、自分の価値を高めるための努力を惜しまないでほしいと思います。自分は何ができるのか、ということがその人の価値を高め、財産になります。大切なのは『志』と『愛情』。『情けは人のためならず』が私の座右の銘です。人は誰かの役に立つためならパワーが出ます。人の役に立てるようになるため、自分を磨き、その可能性を追求めして頑張ってくださいと思います。

●センパイのひとこと



入社 7 年目
小田嶋 美紗子さん

大学を卒業し、東京で不動産の仕事をしていましたが、地元横手に戻り、取得した資格を生かせる会社に入社しました。仕事をするとすることは、時にはつらいこともあります。お客さまに『ありがとう』と言っていただけなのにやりがいを感じます。次もまた『ありがとう』と言っていただけのように、日々の小さな改善や気配りを大事にすることが、自分の成長につながると思っています。



▲お客さまのため、親身になってその人にあった物件をご紹介します



▲小田嶋さんはお部屋探しと賃貸管理の業務を担当し、店長を務めています



★地元のキラリ★ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

アクアス横手店



- 所在地 横手市条里一丁目 14-3
- 設立 平成 14 年 6 月
- 従業員 28人(令和3年8月現在)
- 電話 0182-33-4511

アクアス横手店は、お中元やお歳暮、冠婚葬祭などの贈答品の販売を手掛けている会社です。お客さんの持ち込み品まで組み合わせでギフトセットを作るなどの細やかな対応や、遠くに住む地元出身の方へ商品を送る際に、地元の方言をちりばめた包装紙や箱を使用するなど、送り主のみならず、受け取り主の満足までも心がけた会社運営を行っています。

取締役店長の阿部さんは、「秋田の方言が書かれた包装紙を大変喜んでいただけた受け取り先の方から、私たちに手紙をいただいたこともあり、人と会うのが難しい状況で、ふるさとの懐かしい言葉に触れることで地元を思い出していただくこともそうですが、ギフトで人と人の思いをつなげるのが私たちの仕事。これからも、お客さまに気軽に立ち寄って話しかけていただけるような、人と人がつながる会社を目指していきます」と話してくれました。



▲方言満載の『じっぱり箱』。オリジナルのうちわと手ぬぐいも好評です

若い人たちには、失敗やうまくいかなかったことがあった時には、「立ち上がり方を間違えないように」とよく声をかけています。誰かに言われた厳しい言葉も、それはその人を思っている言葉です。そこからどのように立ち上がるのかは、自分次第。相手が自分にかけてくれた言葉のエネルギーを、良い方向に向けて立ち上がり、前に進んでほしいと思います。



取締役店長
阿部 圭子さん

●取締役店長さんのひとこと



▲手早く綺麗に、包装紙1枚からもしっかりと包みます

以前は事務の仕事をしていましたが、アクアスに来店した際のお店の雰囲気や丁寧な接客に憧れ、入社しました。もともと自分は事務に向いていると思っていたのですが、接客という新しい仕事に挑戦すること、その楽しさや厳しさなど、日々新しい発見や経験をしています。若い人には固定観念を取り除いて、新しい可能性に挑戦してほしいと思います。



入社2年目
伊藤 ゆきえさん

●センパイのひとこと



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

株式会社 柴田畜産



- 所在地 横手市平鹿町浅舞 字沈樋 50-4
- 設立 昭和 45 年 2 月
- 従業員 42人(令和 3 年 10月現在)
- 電話 0182-24-3202

株式会社柴田畜産は、食肉製品の製造・卸業を行う会社です。原料となる食肉を地域の生産者から直接仕入れることで、新鮮なお肉を提供できるのが強みです。ほかに、平鹿地域で長年愛され、惜しまれながら閉店した『小山』の味を継承した焼き鳥店を平成 31 年に開業し、今年 10 月には 2 店舗目を大仙市に出店しました。

代表取締役社長の柴田さんは、「私たちは命に近いところで仕事をさせてもらっています。命の恵みと食への感謝の気持ちを大切にし、子どもたちの食育にも会社として取り組みんでいます。地域の生産者から仕入れたお肉を私たちが加工し、その製品を地域の方に買って食べていただくことで、食を通して地域を元気にしたい、というのが私たちの会社の目標です。そして、『ありがとう』と笑顔の絶えない、みんなで頑張る『大家族経営』の会社を目指しています」と話してくれました。



▲地域から愛される焼き鳥。毎日夕方には売り切れてしまいます

仕事をするということは、決して楽しいことではありません。学生時代のように机に向かう座学だけではなく、働き始めてからも、いくつになっても勉強することがたくさんあります。これから社会に出る方は、色々な仕事に接する機会があればどんどん参加してみてください。そして、新しい環境に飛び込む覚悟がある方から、ぜひ私たちの仲間に加わってほしいと思います。



代表取締役社長
柴田 諭さん

●社長のひとこと



▲菅原さんは接客を担当しています。毎日が学ぶことの連続です

この会社には、焼き鳥の串刺しのパートで入社し、昨年正社員になりました。仕事を重ねるほどに、これまでの自分の世界が狭かったことを感じます。社会に出ると知らないことだらけですが、一歩踏み出すごとに世界が広がり、それが自信になって成長につながります。これからも初めてのことを恐れず、支えてくれる周りの人への感謝を忘れずに、頑張っていきます。



入社 3 年目
菅原 陸さん

●センパイのひとこと



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

ピルツ Pilz株式会社



- 所在地 横手市十字町
十五野新田字明神東 58-2
- 設立 令和元年 9 月
- 従業員 10人(令和3年11月現在)
- 電話 0182-24-1622

Pilz 株式会社は、菌床

ブロックの製造販売とそのブロックを使用したシイタケ生産のほか、廃菌床を利用して飼育したカブトムシやクワガタの販売などを手掛けている会社です。横手市では菌床シイタケの生産量が拡大するに従い、廃菌床の量も増え、処理コストや処分場所の確保などの課題が生じています。これらの課題を、廃菌床を昆虫の餌とすることで解決するだけでなく、昆虫が新たな地域の特産品となることを目指し取り組んでいます。

代表取締役の畠山さんは、「私たちが目指すのは、廃菌床という問題を『昆虫』をキーワードにポジティブなものに変え、シイタケも昆虫も持続発展できる産業にすることです。コストのかかる問題を、利益を生み還元できる仕組みに変えていきたい。今後の目標は、キノコで農林水産大臣賞、カブトムシでギネス記録を取りどちらも世界一になることですね」と話してくれました。

●代表取締役のひとこと



代表取締役
畠山 琢磨さん

さまざまな国がある中、日本に生まれただけでラッキーだと思っています。ですが、そのラッキーにあぐらをかいては幸せにはならない。自分ができそうなことは最大限のリスクを取ってでも進むことが大事です。誰かと自分を比較するのは意味がありません。個人がベストを尽くし多くの人を巻き込んでいくことで、社会全体が持続発展していくのだと思っています。

●センパイのひとこと



入社1年目
照井 達也さん

昆虫が好きで、自分でもクワガタの飼育をしています。地元でSDGsに取り組みながら昆虫を育てている会社があることを知り、社長とツイッターでやり取りをする中で、好きなことを仕事にしたいと思い入社しました。入社してから仕事を苦労と感じたことはありません。自分の好きなことを生かし、貢献できる仕事を見つけたことが大事だと思います。



▲およそ40種類・5～6千頭のカブトムシやクワガタを飼育しています



▲幼虫の餌となる、廃菌床から作った昆虫マットの交換。サイズ計測も行います

株式会社 高英



- 所在地 東京都江東区三好三丁目 2-25 (東京本社)
秋田県美郷町六郷字小安門 200 (プレカット事業部)
- 設立 昭和 14 年
- 従業員 26人(令和 4 年 1 月現在)
令和 4 年 9 月 横手工場操業開始予定

写真はプレカット事業部(美郷町)



CLT パネルの構造。積層することで火災や耐震性にも優れる。

CLT(直交集成板)は、木の繊維の方向が縦・横交互に直角となるよう組み合わせ接合したパネルです。強度に優れ、コンクリートより軽く施工が早いなど、建築資材としてのメリットが多い資材です。

弊社では建築資材の製造から設計、建設までをグループ内で全て完結できるのが強みです。美郷町のプレカット事

業部では建築資材の製造から設計、建設までをグループ内で全て完結できるのが強みです。美郷町のプレカット事



代表取締役副社長
高橋 剛さん

業部では若い世代の社員が多く、私も含めた横手市の方も多く働いています。9月に操業開始する横手工場でも、地元の良い職場を作りたいと思っています。ぜひ私たちと一緒に働いてみませんか。

地元のキラリ企業 特別編

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

今回のキラリ企業は『特別編』。県の誘致企業の認定を受け横手市に進出する『株式会社 高英』のプレカット事業部にお伺いしてインタビューしました。同社では、近年高まっている木材需要を担う新たな建築資材として注目されている『CLT(直交集成板)』の製造・加工を行う『あきたよこてCLT工場(仮称)』を、今年9月に横手第二工業団地で操業開始する予定です。



代表取締役
長谷川 順一さん

弊社グループは岩手県を中心に、建設業関連の事業を展開しています。横手市は岩手からの玄関口で立地条件が良く、今後予定されている秋田道の4車線化によって物流の促進が見込めることが、進出の大きな理由となりました。

秋田杉を代表に、秋田は昔から『木』が身近な環境にあります。昨今、SDGsの認知度の高まりとともに脱炭素社会への取り組みが活発になりつつあります。弊社グループでは、2012年から『持続可能な社会を作る』を経営テーマとしており、森林や水などの自然と人間の生活、そこで育まれるさまざまな命の循環の基礎になるのが『木』であると考えています。樹木を木材に加工する工程では、

わずかな炭素しか排出しません。コンクリートや鉄骨ではなく木材やCLTを使用することは、これからの社会で大きな意味を持ちます。横手工場はCLTの製造・加工からスタートし、将来的には東北におけるCLTの一大生産地とすることが目標です。本社も横手に移転する予定で、地域から誇らしく思っていただけ、そして横手から全国へその誇りを届けられる会社を目指していきます。



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

十文字鉄工株式会社



- 所在地 横手市十文字町 西原二番町 9
- 設立 昭和27年 1 月
- 従業員 18人(令和4年4月現在)
- 電話 0182-42-0214

十文字鉄工株式会社は農業用水路に用いる水門や鋼構造物の設計製作を手掛けている会社です。施工後のメンテナンス体制も万全で、発注者の要望に即対応することをモットーとしています。

創業当時は農機具の部品製造や修理が中心でしたが、現在は農業に密接な関係のある水門の製作へとシフト。横手市の基幹産業である農業を長年にわたって多方面から支え続け、今年で創業70周年を迎えました。地域貢献活動にも積極的に、土地改良区に協力し、水路周辺にある花壇への植栽や水門の保守管理の説明会を行っています。

専務取締役の佐々木さんは、「水門づくりを通じて、利水や治水の一翼を担うことが皆さんのより良い生活につながっていると思うとやりがいを感じます。将来的にも機能を損なわない高品質なものをづくりで、地域に支持される会社を目指していきたいです」と話してくれました。



▲水の管理がより良い土壌作りへとつながり、農作物の生産を支えています

農業が盛んな場所には必ず農業用水路があり、水門があります。自分たちの手掛けた製品が地域の基幹産業の一助となり、仕事を通じて地域に貢献できることがこの仕事の魅力だと感じています。また、水門製作は形に残る仕事なので、完成した時の達成感も味わえます。

地域に役立てる仕事をしたかと思っっている方、ぜひ私たちと一緒に働きませんか？



専務取締役
佐々木 達弥さん

●専務取締役さんのひとこと



▲職場は分からないことも聞きやすい環境で、ものづくりも板についてきました

昔からのものづくりに興味があり、この会社を選びました。特に知識や経験はありませんでしたが、先輩たちは忙しい時でも一から丁寧に教えてくれます。だんだんとスケールの大きな仕事を任せてもらえるようになり、やりがいを感じています。どんな仕事でも初めは不安かもしれませんが、分からないことをそのままにせず先輩に聞いて取り組めばきっと大丈夫です。



入社2年目
石渡 政樹さん

●センパイのひとこと



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

(株)トータルオフィスマネージメント



- 所在地 横手市十字町
字海道下42-1
- 設立 昭和59年7月
- 従業員 60人(令和4年6月現在)
- 電話 0182-42-4030

株式会社トータルオフィスマネージメントは、ソフトウェアの開発・販売を中心にコンピューター機器や事務機器の販売を手掛けている会社です。水道料金や公営企業会計の管理を目的とした自治体向け製品のほか、商業高校向け実践システムや介護福祉関連ソフトウェアなど、取り扱う分野は多岐にわたります。利用者のニーズに応え、かゆい所に手の届くシステムづくりを行っており、近年では横手市を含めた県内6市の水道料金徴収業務も受託しています。

代表取締役の遠藤さんは、「水道料金徴収事業を始めて十数年と日はまだ浅いですが、地域と密接に関わる仕事だと感じています。県内で水道料金徴収を担う企業は少なく、『こんな会社が秋田にあったのか』と重宝していただけることがうれしいです。今後受託を増やし、オンラインワーク企業を目指していきたいです」と話してくれました。

●代表取締役さんのひとこと



代表取締役
遠藤 敏夫さん

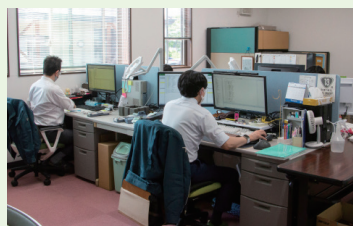
以前は一から人を育てるより経験者を採用したいと考えていましたが、新卒の方を採用してみたところ、とても努力家で仕事を覚えようと一生懸命でした。その姿を見てからは考え方を改め、今後は男女問わず若い方も積極的に採用していきたいと思うようになりました。人口減少が進む中で、地元の方々の採用を通じて地域に貢献していきたいと考えています。

●センパイのひとこと

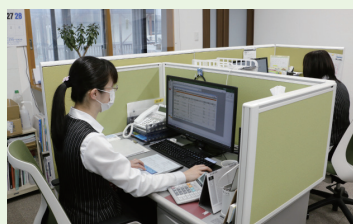


入社2年目
織田 真美さん

前職は官公庁事務だったため、民間企業での経理経験はありませんでした。初めは違いに戸惑いましたが、先輩方が丁寧に教えてくださり仕事に慣れることができました。経理は常に売り上げを考えなければならぬため、日々目標を持つことが大切であるとともにやりがいを感じます。質問するには勇気が要りますが、そこから人とのつながりが広がると考えています。



▲システム開発担当の皆さん。利用者の要望に細やかに対応しています



▲経理の仕事を通じて長期だけではなく短期の目標を持つ大切さを学びました



▲環境事業として機密書類の出張断裁サービスやリサイクルも行っています

地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

ヨコウン株式会社



- 所在地 横浜市卸町 8 番14号
- 設立 昭和26年 2 月
- 従業員 342人(令和 4 年 9 月現在)
- 電話 0182-32-3667

ヨコウン株式会社は、保管・荷役・流通加工・梱包・運送といった物流の5大機能を一貫型で行うほか、環境事業や物流不動産などさまざまな物流サービスを提供する会社です。

近年では特に環境事業に注力しており、食品廃棄物を堆肥化して地元農家へ配布する循環型農業への取り組みや、オフィス書類・梱包資材のリサイクルなどを行っています。

取締役営業本部長の鈴木さんは、「物流事業の進化はもちろん、環境事業の拡大が今後の成長の柱になると捉えています。また、物流不動産事業も手掛けていきたいです。具体的には、倉庫と併せた事務所の賃貸や、空き家の有効活用などを視野に入れており、こうした活動を通じて地域貢献ができないかと考えています。社員には『気付き』や『発見』といった視点を持ちながら、地域貢献できるネットワークがないか、情報収集や知識の深掘りに励んでほしいです」と話してくれました。



▲職制別の研修など社員教育にも力を入れています

若い方から年配の方まで社内一丸となつて、新事業を生んで育てていきたいと考えています。当社は事業を通じて地域社会に新たな価値(サービス)を創造・提供している会社です。社員一人一人が『オールウェイズ・チャレンジ』を中核的価値観として、常に新しいことに取り組もうとしていますので、この考えに共感してくれるチャレンジ精神のある方をお待ちしています。



取締役営業本部長
鈴木 誠さん

●部長さんのひとこと



▲地域貢献のためにも地域のニーズを自ら知ろうとすることが大切と話す高橋さん

弊社では年齢差を感じさせない和気あいあいとした社風があります。勇気を持って積極的にコミュニケーションを取ることが、先輩からの信頼にもつながると思います。

入社後に大切だと感じたことは、常に好奇心を持ち、「なぜ? どうして?」の視点で物事を観察し、物の見方や考え方などを磨くことです。学生時代から好奇心を強く持つてほしいと思います。



入社 4 年目
高橋 駿平さん

●センパイのひとこと



地元のキラリ企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

(株)ヤマダフーズ 遊心庵工場



- 所在地 横浜市平鹿町浅舞 字中東144
- 設立 平成16年10月
- 従業員 12人(令和4年11月現在)
- 電話 0182-24-3811

株式会社ヤマダフーズは納

豆の製造・販売を行う食品

メーカーで、国内シェア4

位、業務用製品に限ると全国

トップを誇ります。平鹿地域

にある遊心庵工場では令和4

年2月からフリーズドライ設

備を導入し、外部委託してい

た加工を内製化することで、

フリーズドライ納豆の生産量

を3倍に引き上げています。

フリーズドライにした納豆は

常温で1年ほど長期保存でき

る上、栄養価や色合いが損な

われにくいのが特徴です。今

後はこの納豆を使った米菓や

ふりかけなどの商品化をはじ

め、同社の強みであるひきわ

り納豆の技術を生かした介護

食や離乳食の開発により販路

拡大を目指すほか、フリーズ

ドライ加工の受託事業も展開

していく予定です。

代表取締役社長の山田さん

は「食を通じて、笑顔あふれ

る明日を共につくるパート

ナーを目指し、納豆の食べ方

の幅をもっと広げていきたい

です」と話してくれました。

●社長のひとこと



代表取締役社長
山田 伸祐さん

これからの時代を切り開く

若い世代が、好奇心を持って

新たなことに挑戦できるように

な社風にしていきたいと考え

ています。また、若手社員を

サポートするために同期研修

やメンター制度を導入してい

ます。さらに昨年からは、役職

ではなく名前と呼ぶ『さん付

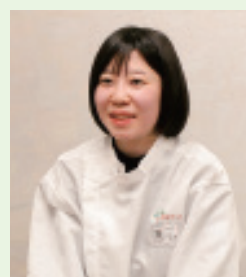
け運動』を開始しました。年

齢や勤務歴に関わらず対等に

助け合い、共に育つ職場環境

を作っていきたいです。

●センパイのひとこと



入社3年目
荒井 祐香さん

企業説明会で先輩社員の話

を聞き、社員教育が充実して

いるこの会社を選びました。

実際に入社してみると、先輩

たちが細かいところまで丁寧

に教えてくださり、さらに私

の意見も尊重してくれるの

で、相談しやすい環境が整っ

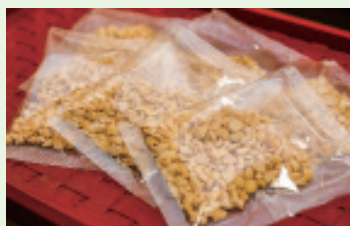
ていると感じました。教わる

だけではなく『自分で見て考

える』という姿勢を大切にし

て、積極的に提案したり相談

するように心掛けています。



▲丸一日冷凍した納豆をさらに一日真空
冷凍乾燥させると製品ができあがります



▲荒井さんは製品の品質管理を担当して
います



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

有限会社 秋田かまくらミート



- 所在地 横手市横山町 3-16
- 設立 平成 8 年 10 月
- 従業員 28 人 (令和 5 年 1 月現在)
- 電話 0182-33-0291

有限会社秋田かまくらミートは、食肉総合卸の会社です。

取り扱う食肉は横手黒毛和牛やみなせ牛をはじめ、八幡平ポークや比内地鶏など、全て秋田県産にこだわっています。一頭丸ごと仕入れ、部位ごとに分割した部分肉を原料として、サシの入リ具合や脂身の量など、卸先のスーパーや飲食店の要望に合わせた整形やスライス・カットを行います。肉質は一頭一頭異なりますが、熟練の技でその個性に合わせた加工ができるのが強みです。現在は、地元での卸業に加え、首都圏に向けた販路の拡大、インターネット販売にも力を入れています。代表取締役社長の村上さんは「地元食肉の価値を高めるため、生産者との交流を大切にしながら、お客様に『安心・安全』にこだわった商品を提供しています。より良い会社を作るため、働く人が健康で楽しく幸せでいられるような環境づくりを心掛けています」と話してくれました。

●社長さんのひとこと



代表取締役社長
村上 政勝さん

円安で輸入品の価格が高騰している今日、改めて地場産の商品を求める傾向が強まっています。地元企業を守っていくためにも、市民の皆さんにはぜひ地域のものを愛して食べてもらいたいです。

また、社員には「自分が我が社を動かしていくんだ」という当事者意識を大切にしてほしいですね。仕事を通して自身の成長につながることを願っています。

●センパイのひとこと



入社12年目
木曾 敬太さん

この会社にはスペシャリストが多く、分からないことも聞きやすい環境が整っています。営業範囲や価格交渉などについての自由度が高く、挑戦しがいがありますし、商談が成立したときには達成感を感じます。私も最初は食肉に関する知識がありませんでしたが、未経験者でもやる気さえあれば周りがバックアップしてくれます。自身の成長を実感できる職場です。



▲加工室ではスライス作業やミンチ作業など、丁寧な加工製造が行われています



▲木曾さんは営業を担当。食肉の世界は日々知識が増え、飽きないのが魅力だそうです